

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 30-004

PDCA	事務事業名	博物館一般事務	部課等名	教育部 博物館	担当	秋山		
					内線等	23-7173		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち						
		節： 第2節 生涯学習の推進						
		基本施策： 3. 文化の継承と創造						
		単位施策： (2) 文化の振興						
D 前年度の活動結果と見られた成果	根拠法令等	博物館法、半田市立博物館条例、半田市立博物館条例施行規則						
		対象・目的	博物館の見学や各種の博物館講座への参加を通して、郷土の歴史、伝統文化や科学、芸術への理解を深める。					
			目的を達成するための手段・活動内容	・学芸員の専門分野を活かした講座や企画展に合わせた講座・関連イベントを実施する。 ・常設展示室の更新・充実に加え、廊下やエントランスホール等も展示スペースとして活用する。				
				活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度
①博物館年間入館者数	104,913				95,961	89,128	人	
②博物館講座参加者数	313	344			431	人		
事業費	7,187	7,375	6,980		千円			
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
A 課題解決のための目標	事業の評価・課題	A						
		「製塩土器を作ろう」や「ハロウィンかぼちゃでランタンを作ろう！」など、企画展に関連した講座を開催することで参加者の興味関心を高めるとともに、展示への理解を深めることができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により3月4日から臨時休館となったことで、年間の来館者数は減となったが、「目指せ！カイコマイスター」、「天然石できれいな万華鏡を作ろう！」など、親子で楽しめる講座を新たに開催し、講座参加者数は昨年度を上回ることができた。 今後も学芸員の専門性を活かしつつ、参加者に楽しみながら学べるような魅力的な講座を開催していくことが必要である。						
		今後の事業の方向性	改善推進					
			幅広い年齢層の方に興味関心を持ってもらえるよう、学芸員の専門分野を活かした講座や企画展に合わせた講座・関連イベントを実施することで、さらなる入館者数の増加に努める。また、常設展示室の展示や解説等を改善し内容を充実させることで、さらに魅力ある博物館づくりを推進していく。					
令和2年度の目標	成果指標		目標値	単位				
	①博物館年間入館者数		100,000	人				
	②博物館講座参加者数	450	人					